



米国発表報道資料意識

アドビシステムズ社 Adobe LiveCycle サーバプラットフォームの拡張を発表

新しいサーバソフトウェア Adobe LiveCycle Workflow の提供により
ユーザ本位のビジネスプロセスの自動化が可能に

【2005年9月7日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2005年9月6日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ:ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ以下アドビシステムズ社）は本日、Adobe® LiveCycle™ サーバプラットフォームが、ビジネスプロセス自動化のための新しいサーバソフトウェア Adobe LiveCycle Workflow の提供や、既存製品を強化したことで、飛躍的に進化したと発表しました。新たに提供開始となる Adobe LiveCycle Workflow によって、ドキュメントサービスが統合され、人を中心としたビジネスプロセスの自動化が可能となります。これにより、顧客とのコミュニケーションや組織、企業の業務効率の向上およびコンプライアンスへの対応を実現します。

Adobe LiveCycle を活用することによって、行政機関や金融機関、製造業などの組織は、組織の枠を超えて市民や顧客、関係各社と効率的な情報のやりとりを行い、情報を統合するソリューションを、より簡単に構築することが可能となります。Adobe LiveCycle の導入にあたっては、特別なプログラミングは不要で、ビジネスプロセスの自動化には視覚的なツールを使ってアプリケーションを設計することができます。さらに新しい Adobe LiveCycle は、ビジネスプロセスを視覚的に監視するための BAM（Business Activity Monitoring）ソリューションを提供し、優れたドキュメントセキュリティおよびドキュメントコントロール機能の連携を実現します。また、紙から電子文書への自動変換の際には100%の精度で2次元バーコードフォームのデータを統合する機能を提供します。

Adobe LiveCycle のユーザであり、全米有数の資産管理および保険会社である Ameriprise Financial 社では、新しい Adobe LiveCycle 製品を顧客アドバイザーが簡単にデスクトップからアクセスできる各種フォーム類の作成システムに導入しています。同社のサービスデリバリー オペレーションズ担当バイス プレジデント、Steven Guida（スティーブ ガイダ）氏は、次のように述べています。「Ameriprise Financial 社が Adobe LiveCycle プラットフォームを選択した理由は、Adobe LiveCycle プラットフォームを導入することで、新規法人口座の開設などのサービス提供に伴うプロセスを合理化することが可能であったことが挙げられます。また、Adobe LiveCycle プラットフォームは広範かつ詳細な機能設定が可能なこと、さらにアドビシステムズ社にはフォームの電子化、自動化のワークフローについて明確かつ戦略的なビジョンがあることが決め手となりました」

新しい Adobe LiveCycle には、ドキュメントプロセスを自動化するワークフロー アプリケーションを直感的に構築することを可能にする Workflow Designer と 50 を超える QPAC（Quick Process Action Component）が用意されています。QPAC によってユーザは、タスクの振り分けや、電子メールの送付、バックエンドシステムとの統合など、統合プロセスにおける複雑なワークフローの組み立ても、ドラッグ & ドロップによる簡単な操作で素早く行うことが可能です。新しい Adobe LiveCycle が提供する BAM ソリューションでは、業務パフォーマンス

ンス技術における先進企業である Celequest 社の技術を採用しており、ビジネスプロセスを監視する、カスタマイズ可能なモニタリング画面によって、ビジネスプロセスの状況を把握、管理することができます。また、2次元バーコードフォーム ソリューションが大幅に強化され、紙から電子文書へのより効率的な変換プロセスを実現しています。

Adobe LiveCycle のドキュメントセキュリティおよびドキュメントコントロール機能によって、組織や企業では高いレベルでドキュメントの真正性、完全性、プライバシーや機密性を確保することができます。また、Adobe PDF ファイルへの電子署名の付与、電子証明書付きドキュメントの発行、およびドキュメントの開封、閲覧、印刷、コピー、変更を行える対象者を指定するなど、きめ細かなドキュメントコントロールが可能です。今回の Adobe LiveCycle プラットフォームの拡張により、このような機能をこれまで以上に多様なワークフローの中で利用できるため、業務ポリシーやプロセスのルールをさらに徹底、浸透させることが可能となりました。

H&R Block Information Technology 社のチーフ アーキテクトである Neal Shaw（ニール シャウ）氏は、次のように述べています。「H&R Block では約 12 万人ものパートタイマーを雇用していますが、その税金関係の処理を Adobe LiveCycle サーバプラットフォームを活用して自動化することにより、パートタイマーは各自で無償の Adobe Reader™ ソフトウェアを使ってフォームをダウンロードし、電子的に記入することが可能となりました。フォームを電子化したことにより、パートタイマーのデータを自動的に処理し、基幹システムに統合することができました。Adobe LiveCycle サーバプラットフォームは、フォーム処理の正確性と業務の効率性を高めるだけでなく、求職者の方に対しても使いやすい環境を提供することに貢献しています」

Adobe LiveCycle について

Adobe LiveCycle 製品群は、文書処理を自動化するためのサーバプラットフォームです。Java 2 Enterprise Edition (J2EE) と XML をベースとした共通のサーバアーキテクチャで開発されています。同製品群は Java API の提供ならびに Web サービスプロトコルに対応しているため、企業や組織に導入されている既存のエンタープライズ インフラストラクチャ システムに大規模な再投資や複雑な変更をすることなく統合が可能です。Adobe LiveCycle は、IBM® WebSphere® と BEA® WebLogic® および JBoss® 上で利用することが可能で、IBM AIX®、Microsoft Windows® Server、Red Hat® および Sun® 等の多様なプラットフォーム上で動作します。Adobe LiveCycle は、XML や Web サービスなどの業界標準に対応しているため、今日のサービス指向型アーキテクチャ (SOA) で文書サービスを活用することが可能です。

今回発表した Adobe LiveCycle プラットフォームの強化の一環として、米国アドビ システムズ社のホームページ内の LiveCycle Developer Center (<http://partners.adobe.com/public/developer/livecycle/devcenter.html>) では、2005 年 9 月 19 日よりエンタープライズ システムの開発者向けに各種ツールや参考文献、技術サポートの詳細、構成済みホスト、製品の体験版などの情報提供を開始します。また、システム開発者は、年会費 1,495 米ドルを支払い、LiveCycle Developer Center の会員になることで、すべての Adobe LiveCycle ソフトウェアにアクセスできるだけでなく、カスタム アプリケーション構築に必要なサポートや、アドビ システムズ社のエンジニアリング チームや開発チームから定期的に情報を入手できます。なお、同会員プログラムは、北米においてのみの開始となります。

提供開始製品について

プロセスマネジメントソリューション

- Adobe LiveCycle Workflow 7.0
- Adobe LiveCycle Forms 7.0
- Adobe LiveCycle Form Manager 7.0

価格と提供時期について

Adobe LiveCycle Workflow を構成製品とする Adobe LiveCycle ソフトウェア製品群の最新版は、CPU 単位あるいはユーザ単位でアドビマスターソリューションリセラーを通じて 10 月下旬より提供を開始する予定です。アドビマスターソリューションリセラーについては、<http://www.adobe.co.jp/enterprise/partners/japan.html> をご覧下さい。Adobe LiveCycle ソフトウェア製品群の価格はオープン価格となっております。

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、効果的で信頼性の高いデジタルコンテンツを製作、管理、配信するためのソフトウェアソリューションを提供する世界有数の企業です。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。